

# 校長室の窓から 41

## 070502 6年生の背中を見て下級生は育つ

今日は、「入学おめでとう＆色団結成集会」がありました。この集会の企画・運営は、もちろん6年生です。

しっかりとした話し方で進める司会や、ムダのない進め方、あらゆる6年生の動きから、今日に至るまで入念に準備を重ねてきたことが分かりました。

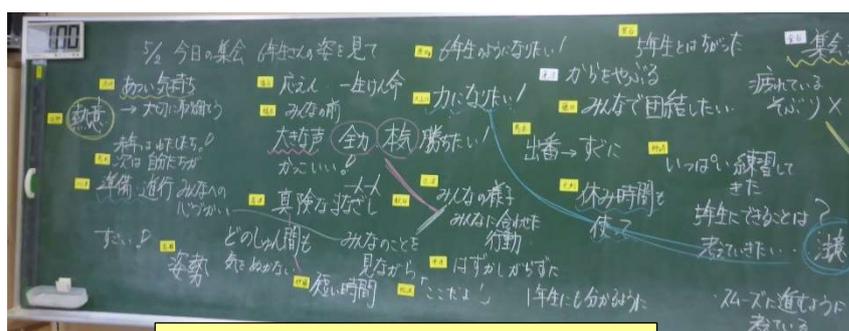


何よりも、下級生や教職員を驚かせたのは、団ごとに行った「かけ声」です。「はい」と返事し入場してから退場するまで全く手を抜かず指の先まで全力でやり通す姿に、並々ならぬ意気込みを感じました。



この6年生の姿を見た5年生の教室では、5限目に話合いが設けられていました。テーマは『今日の6年生の姿から何を学んだか』です。

- 「熱い気持ちが伝わった」
- 「全力・本気で取り組んでいた」
- 「一人一人真剣な眼差しだった」
- 「カッコよかった」
- 「5年生とは違う」
- 「来年は私たちの番」



5年教室の板書『6年生の姿を見て』

次から次へと意見が出ていました。

そういえば、今の6年生が5年生だった昨年も、同じように上級生を憧れの眼差しで見上げていました。このように、最高学年の背中を見て、下級生は育っていくものなのです。

愛と信の仲よしこよし

中太閤山小学校長 堀かおり